

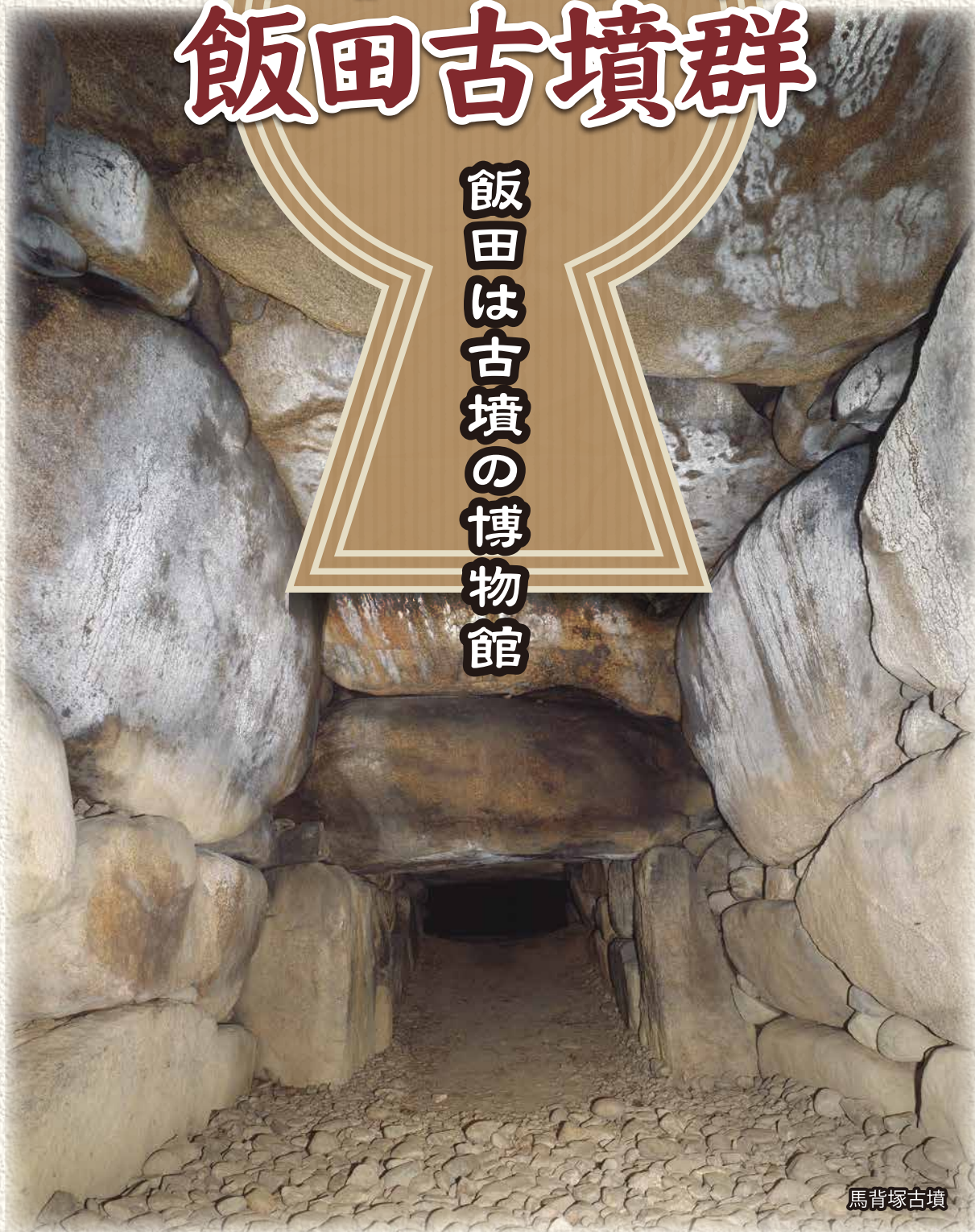
1500年の時をこえて、
古墳を眺め、古墳を知り、過去と未来がつながる

国指定史跡

い い だ こ ふ ん ぐ ん

飯田古墳群

飯田は古墳の博物館



馬背塚古墳

長野県飯田市教育委員会



飯田古墳群とは



飯田市内にはかつて520基を超える古墳がありました。特に、現在残る18基の前方後円墳と4基の帆立貝形古墳のまとまりを「飯田古墳群」と呼んでいます。このうち、11基の前方後円墳と2基の帆立貝形古墳が、平成28年10月3日に国の史跡に指定されました。

ヤマト王権との密接な関係を示す飯田古墳群

長野県内にある前方後円墳の約半数が飯田市内にあります。前方後円墳は、ヤマト王権の影響下で造られた古墳で、その数の多さは、飯田地域がヤマト王権と密接な関係にあったことを示しています。

飯田古墳群は、5世紀後半(古墳時代中期)から前方後円墳が造られはじめ、6世紀末(古墳時代後期)まで連続して造られます。5世紀に、ヤマト王権は、軍事的な役割と国内の交通・運輸機能の発展のために、人やモノの輸送に適した馬を大陸から大々的に導入し、内陸部に位置する飯田地域に馬の生産管理拠点のひとつを置きました。その結果、馬と飼育技術・馬に関わる文化がもたらされ、多くの前方後円墳が造られました。

※ヤマト王権は、3世紀にはじまる古墳時代に倭国(わこく)の王を中心に、複数の豪族(ごうそく)が連合して出来上がり、全国に影響を及ぼした協力的な政治権力で、その中心は奈良盆地にあったとされます。

飯田は古墳の博物館

ヤマト王権と強い結びつきができたことで、飯田地域には当時の最先端の文物(鏡・甲冑・馬具など)や技術(古墳の築造、馬の飼育など)がもたらされました。また、内陸交通網の発展により、東の地方豪族とも新たなつながりができました。その結果、飯田の地には、ヤマト王権からの影響を強く受けながらも、周辺地域の多様な文化を積極的に取り入れた個性豊かな古墳文化が生まれました。それをよく示すものとして横穴式石室があります。いろいろな地域の影響を受けた多様な特徴をもつ古墳が存在し、実際に見ることができる飯田は、まさに「古墳の博物館」です。

日本の国の成り立ちを知る上で重要な古墳群

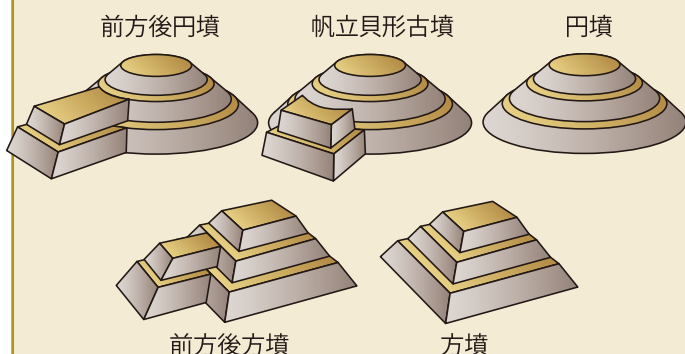
- 1500年以上も前から、ヤマト王権が内陸交通網の整備を行い、国づくりを進めていったことを、飯田という地方の側から知ることができます。さらに、内陸交通の重要地であることが、奈良時代の役所「伊那郡衙」の設置につながります。
- 東西日本を結ぶ内陸交通上にあるという地理的条件を活かした、多様性のある古墳が存在する飯田古墳群からは、中央との関係だけでは語ることはできない、古墳時代の複雑な社会構造を地方の視点から知ることができます。

古墳について

◆縄文時代、弥生時代に続く古墳時代に、土を盛り上げて造られた当時の有力者たちのお墓です。古墳は、3世紀から7世紀にかけて全国各地に造られます。

◆古墳の種類

上から見た形により前方後円墳(ぜんぼうこうえんぶん)、帆立貝形古墳(ほたてがいがたこふん)、円墳、前方後方墳(ぜんぼうこうほうぶん)、方墳に大別されます。飯田古墳群を構成する主な古墳は、前方後円墳と帆立貝形古墳です。

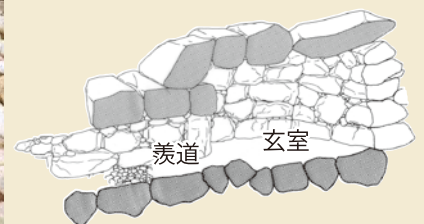


古墳の埋葬施設について

◆埋葬施設は、死者のために造られた部屋です。特に、石を積み上げて造られたものを石室(せきしつ)といいます。構造の違いから、竪穴式石室(たてあなしせきしつ)と横穴式石室(よこあなしせきしつ)の2種類に分けられます。

◆竪穴式石室は、古墳の上から掘り込んで造られるため外からは見ることができません。

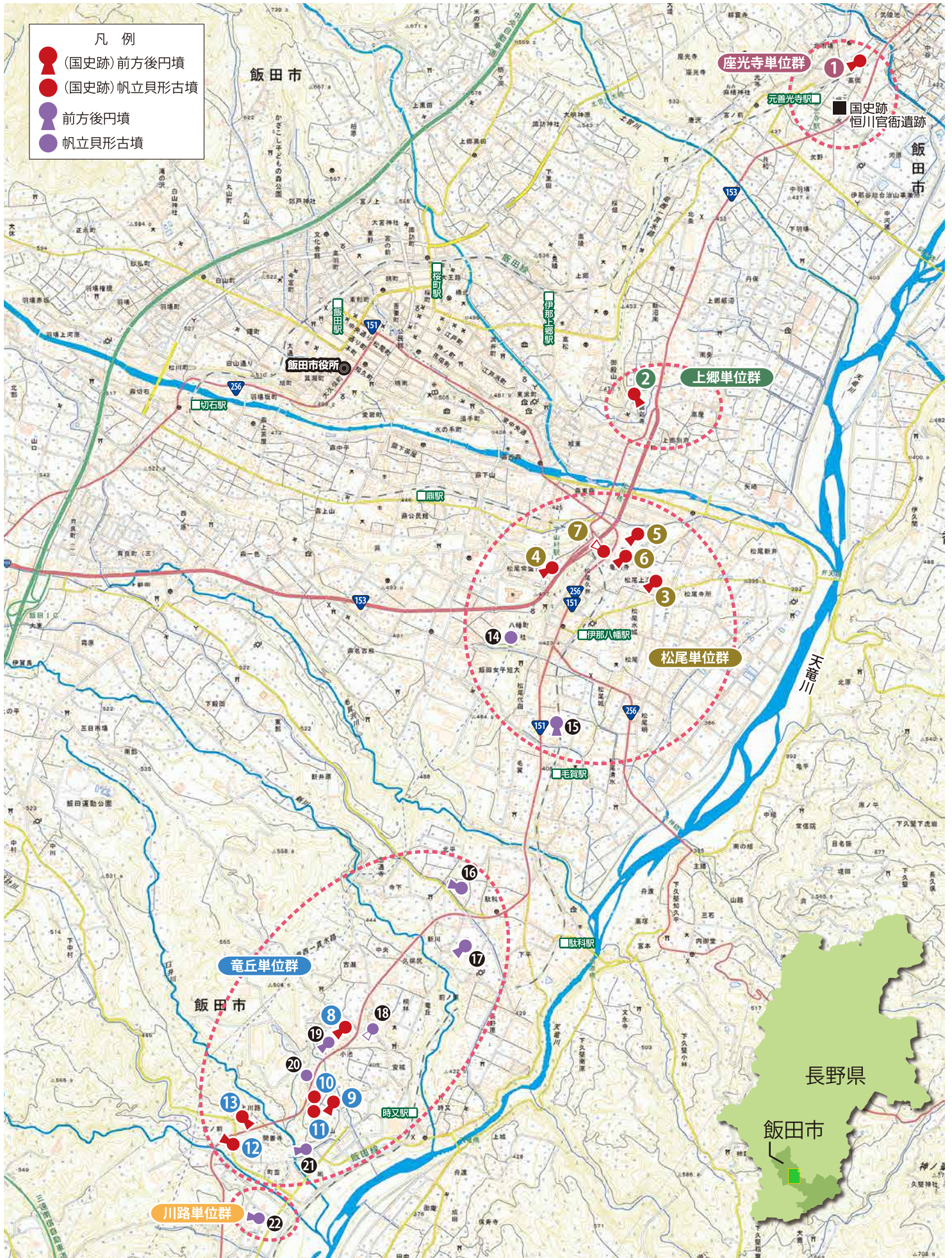
横穴式石室は、遺骸(いがい)を納める玄室(げんしつ)と玄室に至る通路である羨道(せんどう)に分かれています。複数の人を埋葬するため、横から出入りができるような構造になっています。



竪穴式石室

横穴式石室模型図

飯田は古墳の博物館



座光寺

たかおかだい ごう こ ふん

①高岡第1号古墳(●・□)前方後円墳

墳丘長72.3m・横穴式石室・6世紀前半

高岡神社境内にある古墳で、保存状態は良好です。後円部に内部が赤く塗られた横穴式石室があります。石室は小規模ですが、入口の両側に石を立てる構造や石室内に平石を立てて並べる積み方などから、九州や朝鮮半島とのつながりが考えられます。



人物埴輪・形象埴輪



上郷

いぬまてんじんづか うんさいじ こ ふん

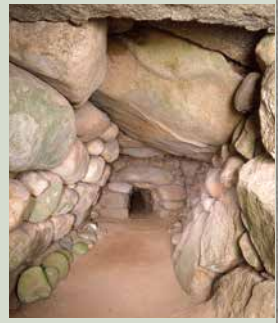
②飯沼天神塚(雲彩寺)古墳(●・□)前方後円墳

墳丘長74.5m・横穴式石室・6世紀前半

かつて前方部に天神社があったことから天神塚古墳とも、雲彩寺境内にあることから雲彩寺古墳とも呼ばれています。後円部にある横穴式石室は、細長い羨道(通路)をもつのが特徴です。石室入口はふさがれていますが、壊された石室の奥側から入ることができます。



馬鈴



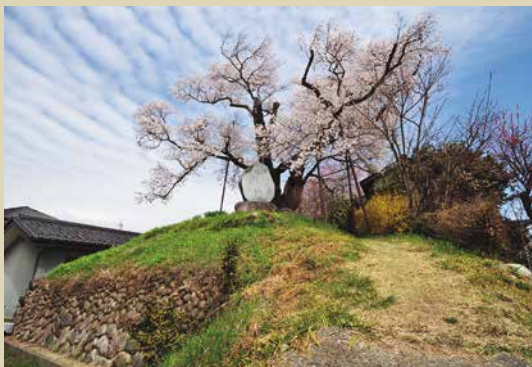
松尾

みさじろししづか こ ふん

③水佐代獅子塚古墳(●)前方後円墳

墳丘長60m・5世紀後半

墳丘は削られています。前方部に市天然記念物「水佐代獅子塚のエドヒガン」(おたちふの桜)がある古墳として親しまれています。後円部に石室があったと伝えられていますが、構造は不明です。



ひめづか こ ふん

⑤姫塚古墳 前方後円墳

墳丘長40m・横穴式石室・6世紀前半

後円部には氏神様が祀られています。後円部にある横穴式石室は小規模ですが、河原石を積み上げて造られ、内部には赤彩が良く残っています。



あげみぞてんじんづか こ ふん

⑥上溝天神塚古墳(□)前方後円墳

墳丘長40(推定41.5)m・横穴式石室・6世紀中頃

墳丘上に天神社が祀られていることから天神塚古墳と呼ばれています。墳丘は削られています。発掘調査で墳丘のまわりに二重に溝がめぐることがわかっています。後円部にある横穴式石室は大型の自然石を積み上げたもので、細長い形状が特徴です。



おびかなぐ 帯金具

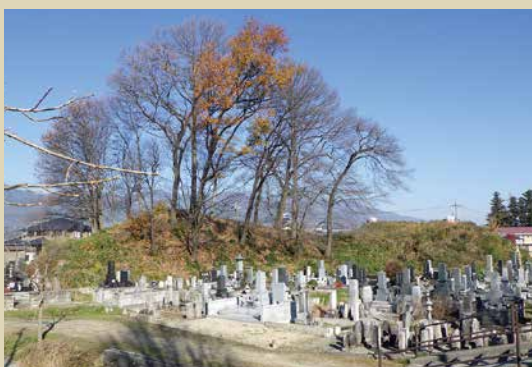


みさやまししづか こ ふん

④御射山獅子塚古墳(●)前方後円墳

墳丘長58m・横穴式石室(推定)・5世紀末～6世紀

一部削られていますが保存状態は良好です。後円部の直径に比べ、前方部の幅が広く張り出しており、前方部の方が高くなっていることが特徴です。石室があったと伝えられていますが、現在は確認できません。



づか こ ふん

⑦おかん塚古墳(●・□)前方後円墳

墳丘長20(推定50)m・横穴式石室2基・6世紀後半

墳丘の北側半分が削られているため円墳に見えますが、本来は前方後円墳です。前方部と後円部の両方に横穴式石室がありましたが、現在は後円部の石室のみが残っています。巨石を積み上げた横穴式石室は入口よりも内部が広く、天井も高いことから、中に入るとその大きさに圧倒されます。



竜丘

おおつか こふん

⑧大塚古墳 前方後円墳

墳丘長50(推定53)m・竪穴式石室(推定)・5世紀後半

前方部は削られ、後円部は墓所となっていますが、横から見ると前方後円墳であることがよくわかります。



これいささ
五鈴鏡

つかばらふた ごつか こふん

⑨塚原二子塚古墳(■)前方後円墳

墳丘長73m・竪穴式石室(推定)・5世紀末

塚原二子塚古墳、鏡塚古墳、鎧塚古墳を中心に大小16基の古墳があったとされることから、塚原古墳群と呼ばれています。周辺景観とともに良好な姿を残す古墳群です。塚原二子塚古墳は発掘調査で円筒埴輪などたくさんの埴輪が見つかり、墳丘のまわりに二重に溝がめぐることが確認されています。



円筒埴輪

かがみづか こふん

⑩鏡塚古墳 帆立貝形古墳

墳丘長45m・竪穴式石室(推定)・5世紀後半



よろいつか こふん

⑪鎧塚古墳 帆立貝形古墳

墳丘長40(推定45)m・竪穴式石室(推定)・5世紀末



たんこつ
鉄製短甲(よろい)

おさぎどう こふん

⑫御猿堂古墳(■)前方後円墳

墳丘長65.4m・横穴式石室・6世紀中頃

墳丘上は墓所となっていますが、古墳の外形は比較的良く残されています。発掘調査で墳丘のまわりに二重に溝がめぐることがわかっています。後円部にある横穴式石室は、上溝天神塚古墳や馬背塚古墳の後円部にある石室と同じく細長い形状をしています。



国 重要文化財
がもんたいしごつししやう
画文帯四仏四獣鏡

ま せづか こふん

⑬馬背塚古墳(□)前方後円墳

墳丘長46.4(推定50以上)m・横穴式石室2基・6世紀末

やや小規模な古墳に見えますが、発掘調査により50mを越える古墳であることを確認しています。後円部と前方部のそれぞれに形状が異なる横穴式石室があります。後円部の石室は細長い形状、前方部の石室はおかん塚古墳と同じ形状です。前方部の石室は近畿地方にある古墳の石室と極めて良く似ています。その構造から、飯田古墳群の中で最後に造られた前方後円墳と考えられます。



後円部
石室



前方部
石室



左が後円部 右が前方部

【古墳の見学についてのお願い】

- (■)印のある古墳は墳丘の上って見学することができます。
- (□)印のある古墳は石室を見学することができます。
- それ以外の古墳は私有地(農地や墓地)にありますので、無断で立ち入らず、外観を楽しんでください。

後世に守り伝えたい古墳のある景観

飯田市教育委員会では、古墳を後世に確実に保存継承していくため、古墳の保存活用の方針を定めた計画を策定します。また、引き続き調査研究を進め、価値が明らかになった古墳については国史跡としての追加指定をめざすとともに、その成果を広く情報発信していきます。

現在、古墳のある景観を地域のシンボルとして守り伝えていくための取組みが、各地区で進められています。飯田古墳群を地域の宝とし、地域の成り立ちを知り、まちづくりに活かされる歴史文化資産となるよう地域の皆さんと協働して、交流、学習の場として活用を図っていきます。

「来て、見て、納得、古墳の野外博物館」として、飯田古墳群を後世に守り伝えていきます。



国史跡に指定された13基以外の前方後円墳、帆立貝形古墳を紹介します。



14 やわたやま こふん
八幡山古墳(松尾)
帆立貝形古墳・墳丘長28.5m
5世紀代



15 しろた ししつか こふん
代田獅子塚古墳(松尾)
前方後円墳・墳丘長61m
5世紀後半



16 つかごし ごう こふん
塚越1号古墳(竜丘)
前方後円墳
墳丘長60(推定72.2)m
横穴式石室 6世紀後半



17 ごんげんどう ごう こふん
権現堂1号古墳(竜丘)
前方後円墳・墳丘長60m
5世紀後半



18 まるやま こふん
丸山古墳(竜丘)
前方後円墳
墳丘長35(推定60)m
竪穴式石室(推定)
5世紀後半



19 けんせいおか こふん
兼清塚古墳(竜丘)
前方後円墳
墳丘長60(推定63.6)m
竪穴式石室(推定)
5世紀後半



20 つかばら ごう こふん
塚原3号古墳(竜丘)
帆立貝形古墳
墳丘長40(推定45)m
竪穴式石室(推定)
5世紀後半



21 かなやまふた ごづか こふん
金山二子塚古墳(竜丘)
前方後円墳
墳丘長49.1(推定63)m
横穴式石室(後円部・前方部)
6世紀前半



22 くぼた ごう こふん
久保田1号古墳(川路)
前方後円墳
墳丘長 推定61m
横穴式石室(推定)
6世紀初頭
正清寺古墳とも呼ばれる

お問い合わせ
飯田市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534番地
TEL.0265-22-4511 FAX.0265-22-7969
飯田市ホームページ <http://www.city.iida.lg.jp/>
文化財保護いっだ <http://www.city.iida.lg.jp/site/bunkazai/>